

松竹大谷図書館

SHOCHIKU
OTANI
LIBRARY



令和6年12月10日発行

演劇・映画の専門図書館

松竹大谷図書館

ニューズレター

No. 321 (2024年12月)

■トークショー「劇作家・北條秀司、その作品の魅力を語る」開催



令和6年(2024)11月16日(土)開催

松竹大谷図書館クラウドファンディング
演劇・映画資料の宝箱、貴重資料を未来へ【第13弾】

トークショー「劇作家・北條秀司、その作品の魅力を語る」

波乃久里子様（新派女優）／齋藤雅文様（新派文芸部）
司会・聞き手：神山彰様（演劇研究家）

11月16日（土）、松竹大谷図書館クラウドファンディング特別企画のご支援者さま限定スペシャルトークショー「劇作家・北條秀司、その作品の魅力を語る」を、新橋演舞場内会場にて開催いたしました。

このトークショーは、当館にしか原資料が存在しない演劇界の貴重資料「北條秀司スクラップブック」を末永く守り、次世代まで活用していくためにも、このクラウドファンディングプロジェクトにおいて、多くの方に北條秀司作品の魅力に触れ、作品の素晴らしさを知っていただきたい、という想いから企画に至ったものです。
(次ページに続く)

目次:

トークショー「劇作家・北條秀司、その作品の魅力を語る」開催	1	新規登録資料案内	4
歌舞伎座筋書「レトロ写真館」連載:12月「名優當り藝絵葉書」	2	新着資料案内	5
中央区まるごとミュージアム2024に参加しました!	3	資料提供	5
12月ブックトラック資料紹介「クリスマス映画特集」	3	隔月刊化のお知らせ	5
来年のカレンダーのお知らせ	3	公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い	6
中央区観光協会主催「わくわくツアー」ご報告	4	松竹大谷図書館へのご来館に関するお願い	6
江東区立東陽図書館企画展示「映画の年代史」で当館をご紹介いただきました	4	年末年始休館のお知らせ	6
		利用案内	6

(前ページより続く)

『王将』など226編に及ぶ作品を遺した劇作家・北條秀司(明治35[1902]年11月7日～平成8[1996]年5月19日)。幅広いジャンルの作品を発表しましたが、なかでも新派の作品を多く手掛けており、『太夫さん』や『佃の渡し』『京舞』などをはじめとして、新派の重要なレパートリーとなっている作品が数多くあります。そこで演劇研究家の神山彰氏を聞き手にお迎えし、新派はもちろんのこと、歌舞伎やミュージカルなど幅広いジャンルの作・演出でご活躍されており、北條作品の演出も手掛ける新派文芸部の齋藤雅文氏と、数多くの北條作品に出演されている新派女優・波乃久里子さまのお二人に、北條秀司の思い出や作品の魅力について語っていただこうと、トークショーを企画いたしました。また今回の趣旨にご賛同いただいた新橋演舞場株式会社さまが「新派のホームグラウンド」である新橋演舞場を会場として快く提供していただき、松竹株式会社演劇部さまにもお力添えいただいたことで、この度のトークショーが実現いたしました。

トークショーでは、神山氏からは、北條秀司が大阪出身であることなどを挙げ、同じ時代に新派の作者であった東京出身の川口松太郎との作風、気質の違いなどを比較しながら、作品の特色を解説していただきました。また、齋藤氏からは北條秀司の緻密な脚本づくりについて、現在、芝居づくりに携わる脚本家、演出家ならではの視点からお話いただきました。波乃さまが初めて北條秀司作品に出演したの舞台稽古の思い出や、父・十七世中村勘三郎と北條秀司との親交などを語った後、「北條



北條秀司作品新派台本

秀司先生はやっぱり、すごい先生でしたね」と懐かしむと、会場の皆さんも深く頷きながら、お話に聞き入っていました。

また、齋藤氏が主宰する演劇ユニット・新派の子「さろん・ど・まろん～波乃久里子を聴く宴」で、昨年引き続き、12月12日に『太夫さん』を朗読として上演するための稽古にかかっているお二人からは、北條作品の奥深さについて実感のこもったお言葉がありました。北條秀司が活躍したその時代を直に知るお三方ならではの、ここでしか聞けないお話を存分に伺うことができ、会場は大いに盛り上がりました。

改めて北條秀司作品の魅力に触れ、新派をはじめとしたさまざまな北條作品が、今後も上演され続けていくことを願う会となりました。

■歌舞伎座筋書「レトロ写真館」連載:12月「名優當り藝絵葉書」

当館デジタルアーカイブより、選りすぐりの歌舞伎プロマイドをご紹介します。歌舞伎座筋書の連載「明治大正昭和 レトロ写真館」。今月12月で、いよいよ最終回となりました。テーマは「名優當り藝絵葉書」です。

「名優當り藝絵葉書」は、明治44～45年頃、演芸画報社より俳優ごとの當り役を6種一組で発売された絵葉書です。発売された俳優は、十五世市村羽左衛門、六世尾上菊五郎、初世中村吉右衛門、二世市川左團次、六世尾上梅幸、八世市川高麗蔵(のちの七世松本幸四郎)など。それぞれの當り役を演芸画報社が撮影し、日本画家・鏑木清方の門人であった林緑水が意匠を凝らしたカラーデザインの絵葉書となっています。林緑水は明治43(1910)年、清方の紹介により演藝畫報社に入社し、『演藝画報』の芝居スケッチを専門に担当していました。今回は、筋書ではご紹介しきれなかった絵葉書をご覧ください。こちらは明治44年5月明治座上演『修禅寺物語』夜叉王(二世市川左團次)です。『修禅寺物語』は岡本綺堂が左團次のために書いた新歌舞伎で、左團次の當り役十種「杏花十種(きょうかじゅっしゅ)」にも選ばれています。作品世界を捉えた林緑水のモダンで幻想的なデザインが美しい絵葉書となっています。

さて、本年一年間ご好評をいただきました「明治大正昭和 レトロ写真館」の連載も、おかげさまをもちまして最終回を迎えました。この連載を通して、当館所蔵資料である往年の名優たちのプロマイドの魅力をお伝えできましたことは、大変うれしく存じます。また、この連載を機に、たくさんの歌舞伎ファンの方に当館HPのデジタルアーカイブを知っていただき、より活用が広がっていくことを願っております。



《松竹大谷図書館所蔵・演劇写真検索閲覧システム》

https://www.dh-jac.net/db/butai-photo/search_sol.php

■中央区まるごとミュージアム2024に参加しました！

11月10日（日）第17回中央区まるごとミュージアム2024が開催されました。中央区の文化的な魅力を発見・再確認していただくイベントで、当館は昨年に引き続いての参加となりました。昨年は前日のプレイベントとしての参加でしたが、今年はイベント当日の参加となり、当館にとって初の日曜特別開館となりました。閲覧室の席数をコロナ禍以前の14席に戻し、利用時間をおひとり最長3時間に限定させていただきましたが、資料閲覧者はお電話での事前予約が10名、予約なしの当日利用が9名で、次々にご利用いただき、終日賑わっておりました。中央区まるごとミュージアムスタンプラリーの設置場所にもなっていたため、スタンプラリー参加者も数多く来館されました。そのほか、イベントのことは知らなかったが、たまたま通りかかったら開館していると知ってふらりと立ち寄ったという方も多くいらっしゃいました。通常は平日のみの開館ですが、休日に開館すると気軽に利用できる方が増えると思われるます。

閲覧室では、十一月歌舞伎座特別公演「ようこそ歌舞伎座へ」にちなみ、「ようこそ歌舞伎座へ ようこそ松竹大谷図書館へ！」と題した展示を開催しました。さらに、名作映画のパンフレットや十一月歌舞伎座特別公演「ようこそ歌舞伎座へ」

関連資料の演劇プログラムなどをそのまま手にとってご覧いただけるブックトラック展示は、席に持って行って何冊何冊もじっくりとご覧になる方が多く、大変好評でした。

来館された方には先着50名様に記念品として松竹大谷図書館開館65周年記念ブックカバーを進呈したほか、事前予約

の上資料閲覧された方には記念ブックカバーとパンフレットを差し上げました。また、松竹大谷図書館オリジナルグッズの販売も好調でした。10時から17時まで（イベントの開催は16時まで）の開館で、資料閲覧者19名、展示観覧者107名、合計の来館者数は126名、と大変盛況のうちに終了しました。

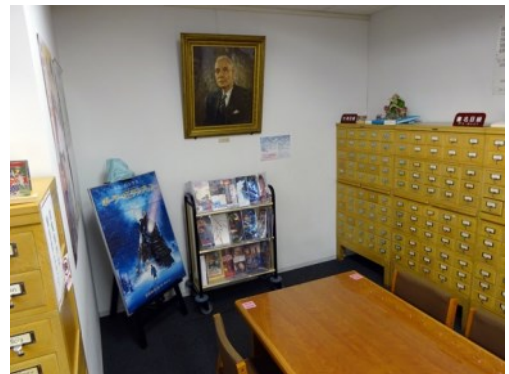


■12月ブックトラック資料紹介「クリスマス映画特集」

クリスマスの華やかなイルミネーションやツリーが街を彩る季節となりました。12月の当館閲覧室での資料紹介は、「クリスマス映画特集」です。

お手に取ってご覧になれるブックトラックでの展示で、クリスマスに関する映画のパンフレットをご紹介します。

当館所蔵のクリスマス映画のパンフレットを約80作品をリストアップし、スタッフそれぞれがおすすめのクリスマス映画計27作品を選びました。スタッフの好みがあらわれた展示となっており、恋愛映画、コメディ、アクションドラマなど、様々なジャンルの映画が勢ぞろい。また、映画ポスターも期間中展示替えでお見せしております。是非ご来館ください。



閲覧室展示風景

資料紹介(2024年12月)「クリスマス映画特集」
開催期間: 令和6(2024)年11/29-12/25 平日: 10~17時(休館日: 土日祝日)/開催場所: 当館閲覧室/入館無料

■来年のカレンダーのお知らせ

2025年のカレンダーが完成いたしました。

なお、開館日時につきましては、状況の変化にともない変更の可能性がございます。随時お電話での確認や、当館のHP、SNSの更新をご確認下さい。ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

当館HP

<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

松竹大谷図書館カレンダー2025 * 印の日は休館日です

1月					2月					3月					4月				
日	月	火	水	木	日	月	火	水	木	日	月	火	水	木	日	月	火	水	木
	1	2	3	4					1					1					1
5	6	7	8	9	2	3	4	5	6	2	3	4	5	6	6	7	8	9	10
10	11	12	13	14	7	8	9	10	11	7	8	9	10	11	11	12	13	14	15
15	16	17	18	19	12	13	14	15	16	12	13	14	15	16	16	17	18	19	20
20	21	22	23	24	17	18	19	20	21	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
25	26	27	28	29	22	23	24	25	26	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
30	31				27	28	29	30	31	27	28	29	30	31	27	28	29	30	
5月					6月					7月					8月				
日	月	火	水	木	日	月	火	水	木	日	月	火	水	木	日	月	火	水	木
	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5	6	7	8	9	6	7	8	9	10	6	7	8	9	10	6	7	8	9	10
10	11	12	13	14	11	12	13	14	15	11	12	13	14	15	11	12	13	14	15
15	16	17	18	19	16	17	18	19	20	16	17	18	19	20	16	17	18	19	20
20	21	22	23	24	21	22	23	24	25	21	22	23	24	25	21	22	23	24	25
25	26	27	28	29	26	27	28	29	30	27	28	29	30	31	24	25	26	27	28
30	31				29	30									29	30	31		
9月					10月					11月					12月				
日	月	火	水	木	日	月	火	水	木	日	月	火	水	木	日	月	火	水	木
	1	2	3	4					1					1					1
5	6	7	8	9	5	6	7	8	9	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
10	11	12	13	14	10	11	12	13	14	7	8	9	10	11	11	12	13	14	15
15	16	17	18	19	15	16	17	18	19	14	15	16	17	18	14	15	16	17	18
20	21	22	23	24	20	21	22	23	24	19	20	21	22	23	19	20	21	22	23
25	26	27	28	29	25	26	27	28	29	24	25	26	27	28	24	25	26	27	28
30					30	31				30					29	30	31		

■中央区観光協会主催「わくわくツアー」ご報告

中央区観光協会主催の「わくわくツアー」は中央区を知り尽くしたガイドさんの案内により、地元の人しか知らない場所を訪れたり、初めての体験が出来るようなまち歩きツアーです。「文化コース」「産業コース」「産業コース」と3つのコースがあり、歴史・文化・経済の中心として、活気にあふれた中央区の魅力を体験することができます。その中の「産業コース」は、東京の匠の技と粋を味わう、産業の息吹を感じる旅ができるコースで、当館は、【歌舞伎の“いろは”を学ぶ】という企画にお声掛けをいただき、11月13日（水）午前で開催された「活版印刷 中村活字」「松竹大谷図書館」「歌舞伎座 木挽町広場」の順に巡るコースに参加された10人の方をお迎えしました。

始めに1910年創業で、かつて“大入袋”も作っていた「中村活字」で貴重な活版印刷について学んで来られた参加者の方

に、当館では、歌舞伎関連の資料の特徴の例として、平成25年の11月と12月に異なる配役で上演された『仮名手本忠臣蔵』の台本、筋書(劇場プログラム)、舞台写真、舞台面(大道具の記録写真)と、多種の資料を所蔵している事をご説明し、資料を手にとってご覧いただきました。

最後は自由に、閲覧室内に展示している組上燈籠の複製の完成形を見ていただいたり、閲覧室開催中の、所蔵資料ミニ展示&ブックトラック資料紹介「ようこそ歌舞伎座へ ようこそ松竹大谷図書館へ！」から歌舞伎関連図書や歌舞伎座の歴史、劇場の写真集などをご覧いただいたり、当館のオリジナルグッズのお買物を楽しんでいただきました。

当館の後は「歌舞伎座」にて屋上庭園や木挽町広場を巡られたとのことで、歌舞伎座の周辺で楽しい午前中をお過ごしただけたのではないのでしょうか。

■江東区立東陽図書館企画展示「映画の年代史」で当館をご紹介いただきました

江東区立東陽図書館では、2024年12月1日より「映画」をテーマに「映画の年代史」というタイトルで企画展示が開催され、文筆家・ラジオDJの志田一穂氏による解説テキストで映画史の出来事を振り返る大きな年表パネルや、同館所蔵の映画関連書籍が展示されています。この企画展示の中で、映画の関連図書館として、当館の概要や、公共図書館との違い、利用方法、独自のデータベースについて、またおすすめポイントとして館内展示・オリジナルグッズ、目録カード、閉架書庫など、図書館員の視点から当館を詳しくパネルでご紹介いただいております。

また、当館のクラウドファンディングへの取り組みについて【第11弾】の『鏡獅子』4Kデジタル修復をご紹介くださるスライドをデジタルサイネージで映していただいております。

お近くにお出かけの際はぜひお立ち寄りください。



江東区立東陽図書館企画展示「映画の年代史」
開催期間：2024年12月1日より2025年1月末／開催会場：江東区立東陽図書館
江東区東陽2-3-6 03-3644-6121／※12月14日に江東区教育センターで志田一穂氏による特別講演会あり(要申込)

新規登録資料案内 (順不同)

新しく受入れた資料をご案内いたします

『心ごころの思い出』『乙羽信子 どんこ半生記』『巴里ひとりある記』『三船敏郎全映画』『追悼 中島貞夫映画監督映画解説集』『まいまいつぶろ』『大奥・花絵巻 横井紅炎作品集 映画「大奥」を活ける』『RRR OFFICIAL MEMORRRRIAL BOOK』『追憶映画館 テアトル茜橋の奇跡』『鬼の筆 戦後最大の脚本家・橋本忍の栄光と挫折』『年鑑代表シナリオ集'22』『必殺仕置人大全』『連続テレビ小説 ブギウギ NHKドラマ・ガイド』『必殺シリーズ始末 最後の大事な仕事』『必殺シリーズ異聞27人の回想録』『別れてよかった 新装版』『新派映画の系譜学 クロスメディアとしての〈新派〉』『CHITEN CATALOGUE 2015 02』『劇場がないじゃ、話になるまい。だから、新しい形式が必要なんです。新形式があるんで、もしそれがないんなら、いっそ何にもないほうがいい。』『SPACアヴィニオン演劇祭2014の軌跡』『KAZE年鑑2014』『KAZE年鑑2013』『ハーフムーン・シアター・カンパニー略史』『CHITEN CATA-

LOGUE 2014 02』『園井恵子 原爆に散ったタカラジェンヌの夢』『決定版 日本の喜劇人』『義太夫年表 昭和篇 第7巻』『THEATRE YEAR-BOOK 2024』『乱歩を探して』『阿豆流為』『2023立川立飛歌舞伎特別公演記録』『新作歌舞伎『刀剣乱舞 月刀剣縁桐』公式図録』『艶やかに 尾上菊五郎聞き書き』『八代目市川團十郎画像資料集IV』『八代目市川團十郎画像資料集V』『四代目市川左團次 その軌跡』『芝居唄 歌舞伎黒御簾音楽歌詞集成』『ミニシアター再訪 都市と映画の物語1980-2023』『大映映画おしゃれ手帖』『小津安二郎 世界が愛した映像詩人』『早坂暁必殺シリーズ脚本集』『「喜劇」の誕生 評伝・曾我廼家五郎』

新着資料案内

(ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします)

新しく受入れた資料をご案内いたします

◆松竹系11月演劇公演資料◆		○ … 受入済み			
劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『ようこそ歌舞伎座へ』	○			
	『三人吉三巴白浪 大川端庚申塚の場』	○		○	○
	『石橋』				
新橋演舞場	『有頂天家族』	○		○	○
	『舟木一夫シアターコンサート in 新橋演舞場』			○	○
松竹座	『劇走江戸鴉〜チャリンコ傾奇組〜』	○		○	○
	『砂糖壺』	○			○
	『人生双六』	○			
	『夢見る白虎隊』			○	
南座	『Journey into KABUKI Appreciation and Experience』			○	○
	『有頂天家族』	○		○	
	『斬家生活三十周年 桂吉弥独演会』				
明治座	『菅原伝授手習鑑 車引』	○			
	『一本刀土俵入』	○			
	『藤娘』			○	
	『鎌倉三代記 絹川村閑居の場』	○			
	『於染久松色読販 お染の七役』	○			
永楽館	『奥州安達原 袖萩祭文』	○			
	『お目見得口上』				
	『高坏』	○			
立川ステージガーデン	『口上・解説』				
	『新版 御所五郎藏』	○		○	
	『玉藻前立飛錦栄』	○			
地方巡業	『ご挨拶』				
	『双蝶々曲輪日記 引窓』	○		○	
	『新古演劇十種の内 身替座禅』	○			

アハウスプログラム/劇団道学先生『兄妹どんぶり』シアタートップスプログラム/道産子と越後人『直江津、午前五時五十九分まで』下北沢OFF・OFFシアタープログラム/THE ROB CARLTON『THE STUB-BORNS』三鷹市芸術文化センター星のホールプログラム/モチロンプロデュース『ボクの穴、彼の穴。W』スパイラルホールプログラム/劇壇ガルバ『ミネムラさん』シアタートップスプログラム/Mido Labo『嗤う伊右衛門』サンモールスタジオプログラム/文化座『紙ノ旗』文化座アトリエプログラム/(遊)市川興行『よせばいいのに』SCOOLプログラム/QoiQoi『ちいさな鱗』東長寺文由閣プログラム/演劇集団円『コウセイネン』吉祥寺シアタープログラム/入江雅人グレート二人芝居『演劇部のキャリー』HOPEプログラム/劇団俳優座『慟哭のリア』俳優座劇場プログラム、台本/『ミュージカル モーツァルト!』帝国劇場プログラム/『tick, tick...BOOM!』シアタークリエプログラム/ブロードウェイミュージカル『ニュージーズ』日生劇場プログラム/『DREAM BOYS』帝国劇場プログラム/『中村勘九郎中村七之助錦秋歌舞伎特別公演2024』地方巡業プログラム/OSK日本歌劇団『レビューRoad to 2025!!』COOL JAPAN PARK OSAKA TTホールプログラム/OSK日本歌劇団『第44回たけふレビュー DREAM SCAPE』越前市文化センター大ホールプログラム/ファニーダイア『浅草レビューVOL.3』浅草公会堂プログラム

◆映画資料◆『矢野くんの普通の日々』プレス、ポスター、パンフレット/『正体』プレス、ポスター、パンフレット

◆映画パンフレット◆(順不同)『カーリングの神様』『動物界』『レッド・ワン』『アングリースクワッド 公務員と7人の詐欺師』『第37回東京国際映画祭公式プログラム』『アイミタガイ』『室井慎次 生き続ける者』『あたしの!』『Back to Black エイミーのすべて』『PUI PUI モルカー ザ・ムービー MOLMAX(モルマックス)』『ザ・バイクライダーズ』『ふたりで終わらせる/IT ENDS WITH US』『ルパン三世 カリオストロの城(第5版)』『スマホを落としただけなのに 最終章 ファイナル ハッキング ゲーム』『スマホを落としただけなのに(第2版)』『スマホを落としただけなのに 囚われの殺人鬼(第2版)』『ヴェノム: ザ・ラストダンス』

◆演劇雑誌◆(順不同)『Confetti』2024年December, 2025年January / 『JPL』No. 94/ 『SePT倶楽部 information』2024年10月号/ 『the座』123号/ 『あぜくら』2024年11月号/ 『えんぶ』2024年12月号/ 『げき』28号/ 『こてん』27号/ 『ほうおう』2025年1月号/ 『ステージびあ』2024年11+12月号/ 『ミュージカル』2024年11月-12月号/ 『ラ・アルプ』2024年12月号/ 『喝采』2025年3月/ 『劇評』第32号/ 『大向う』令和6年12月号/ 『日本照明家協会誌』2024年11月号/ 『日本舞踊』76巻12月号

◆映画雑誌◆(順不同)『NFAJプログラム』No. 59/ 『SCREEN』2025年1月号/ 『TVガイド』2024年11/15号, 11/22号, 11/29号/ 『おとなのデジタルTVナビ』2025年1月号/ 『キネマ旬報』2024年12月号, 11月号増刊キネマ旬報NEXT Vol. 59/ 『シナリオ』2025年1月号/ 『シナリオ教室』2024年12月号/ 『ドラマ』2024年12月号/ 『ロケーションジャパン』2024年12月号/ 『映画テレビ技術』2024年12月号/ 『映画撮影』No. 241/ 『映画時報』2024年10月号/ 『映画論叢』67号/ 『日経エンタテインメント!』2024年12月号/ 『文化通信ジャーナル』2024年12月号

◆他社演劇公演資料(9月-11月)◆(順不同) テアトロコント special『寸劇の庭』ユーロライブプログラム/ウーマンリブvol. 16『主婦 米田時江の免疫力がアップするコント6本』ザ・スズナリプログラム/劇団チョコレートケーキ『つきかげ』下北沢駅前劇場プログラム/文学座『撰』紀伊國屋ホールプログラム/ala Collectionシリーズ『いびしない愛』吉祥寺シアタープログラム/MODE『さようなら、シュルツ先生』座・高円寺1プログラム/風間杜夫ひとり芝居『カラオケマン ミッション・インポッシブル 牛山明、バンコクに死す』本多劇場プログラム/清流劇場『ヘカベ、海を渡る』上野スト

資料提供 (2024年9~11月)

※許可を得た方のみ掲載しております

【出版】『日本伝統音楽研究』第21号「(西村公一文庫紹介展)「近松半二の浄瑠璃本」全三期の補遺」神津武男 2024年9月30日京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター 浄瑠璃正本『源氏物語 葵の巻』を提供/『歌舞伎特選DVDコレクション第135号』2024年10月16日アシェット・コレクションズ・ジャパン マガジンの連載「松竹大谷図書館名品展」に「俳優帖」を提供/『歌舞伎特選DVDコレクション第137号』2024年11月13日アシェット・コレクションズ・ジャパン マガジンの連載「松竹大谷図書館名品展」に「六代目尾上菊五郎「獅子乃隈」羽裏」を提供

【その他】「松竹創業百三十周年 壽初春大歌舞伎」2024年10月30日松竹株式会社 令和7年1月歌舞伎座公演仮チラシ・歌舞伎美人に昭和7年1月歌舞伎座筋書を提供

隔月刊化のお知らせ

2025年より「松竹大谷図書館ニューズレター」は、隔月(奇数月)の発行とさせていただきます。次回は1月の発行となります。

公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■現在ご支援いただいている方々(了承を得た方のみ掲載)令和6[2024]年11月にご支援いただきました

法人・団体 (50音順・敬称略)

株式会社歌舞伎座
歌舞伎座サービス株式会社
歌舞伎座舞台株式会社
有限会社合同通信社
松竹株式会社
松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター
松竹音楽出版株式会社
松竹芸能株式会社
株式会社松竹サービスネットワーク
松竹ブロードキャスティング株式会社
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます

松竹大谷図書館へのご来館に関しましてのお願い

開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性がございます。

随時お電話での確認や、当館のHP、Facebookの更新をご確認ください。ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

《現在のご利用について》(※2024年7月1日改定)

- 開館時間 10:00～17:00 ※ご予約なしでご利用いただけます
- 閲覧予約サービス
閲覧席及び閲覧資料の事前予約ができますので、ぜひご利用ください。
松竹大谷図書館 03 (5550) 1694 (平日10時～17時)
- 手指消毒用のアルコールをご用意しております。

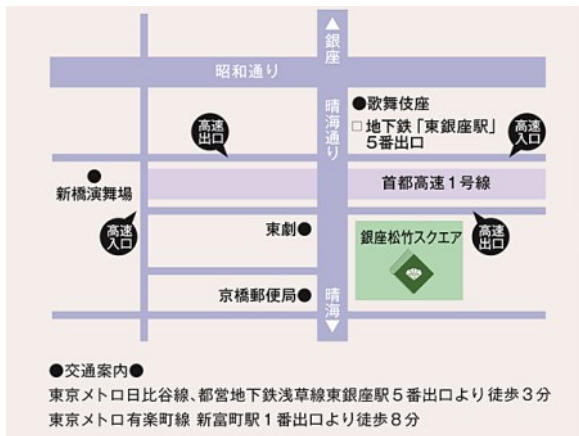
《ご予約について》

- ★10時から17時まで、毎正時より1時間単位でご利用いただけます。
- ★お名前、人数、ご希望日時(○月○日○時より○時まで)、閲覧希望資料名、ご連絡先をお知らせください。
- ★資料は予約優先になりますので、ご利用いただけない場合もございます。

松竹大谷図書館資料検索：<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

詳しいご利用方法はこちら：https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/news/current_usage_20240701/

年末年始休館のお知らせ
令和6年12月26日(木)
令和7年1月9日(木)



- 利用案内●[開館時間]平日10:00～17:00/[休館日]土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間※その他、臨時休館のある場合は1ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します/[閲覧]館内閲覧のみ
[入館料]無料/[コピーサービス] A4 1枚 白黒50円、カラー150円・B4 1枚 白黒100円、カラー300円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担)但し、コピー不可の資料もあります
- 資料検索●<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>
- 交通案内●東京メトロ日比谷線・都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分/東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

公式HP



公式Facebook



公式Instagram



公式X



編集・発行:公益財団法人 松竹大谷図書館
〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階
TEL:03-5550-1694
公式HP <https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>